



Paul Yoshinao Otsuka
Bishop of Kyoto

KyoProtN. 56/2025

2025 年 10 月 23 日

カトリック京都教区司教メッセージ

学校法人ヴィアトール学園による

学校法人ノートルダム女学院からの事業譲受に寄せて

京都市において、カトリックの精神に根ざしたミッションスクールが存在することは、カトリック教会の福音宣教の歩みにおいて、かけがえのない恵みであり、地域社会への大きな貢献でもあります。

このたび、学校法人ヴィアトール学園が学校法人ノートルダム女学院から事業を譲り受けるという決断は、時代の変化と教育の本質的使命を見据えた、極めて勇気ある選択であると受け止めております。

少子化や社会構造の変化が加速する現代において、教育機関がその存在意義と未来像を問い直すことは避けられない課題です。そうした中で、両法人が長年培ってこられたカトリック教育の精神、すなわち、神の愛に根ざした人間形成と、隣人への奉仕を重んじる価値観を、より持続可能なかたちで次世代へ継承していくことは、カトリック教会にとっても大きな希望と意味をもたらすものです。

関係者の皆さまが深い祈りと熟慮の末に至られたこのご決断に、心より敬意を表します。本事業譲受を通して、教育の現場において福音の光がさらに力強く輝き、子どもたち一人ひとりが神の似姿として尊重され、その可能性を最大限に伸ばしていく環境が整えられることを、心から願っております。

また、両法人の歴史と伝統が互いに響き合い、新たな共同体として豊かな実りを結んでいくことを、カトリック教会全体としても温かく見守り、支えてまいりたいと存じます。

父なる神の平和と祝福が、ヴィアトール学園とノートルダム女学院のすべての関係者の上に、豊かにありますように。司教として、心より祈り、励まし、そして祝福を送ります。

カトリック京都教区司教

+ *Paul Y. Otsuka*
+ パウロ 大塚喜直

